

SNS型ロマンス詐欺防げ

公立大生3人啓発動画制作

3本放映、県警が感謝状

宮崎市・宮崎公立大の学生3人が、被害が急増しているSNS型ロマンス詐欺の被害を未然防止するための啓発動画を自主制作した。同市のKI TENビルにある大型ビジョンや県ホームページなどで放映され、注意を呼びかける。8日には3人に県警生活安全部長感謝状が贈呈された。

動画を制作したのは、いずれも同大4年の圖師菜々子(22)、保萌生(24)と田上葉菜(23)さん。3人は、同市のIT関連企業のスパークジャパンが開くデジタル学習会の参加者。県警のサイバー犯罪対策テクニカルアドバイザーに委嘱されている同社基盤技術部の波江野正二さんを介して依頼を受け、若い発想力を生かしながら半年で作り上げた。



SNS型ロマンス詐欺の被害防止啓発動画を作成し、感謝状を受け取った宮崎公立大4年の圖師菜々子さん(左)と田上葉菜さん(右)。8日午後、宮崎市・県警本部

っており、詐欺の手口や被害額をアニメーションやグラフなどで表したり、誘い文句として用いられる「結婚資金を貯めよう」といった注意すべき文言を表示し



宮崎公立大の学生が作った、SNS型ロマンス詐欺の被害防止啓発動画の一場面

たりするなどして、被害を防ぐ要点を分かりやすく伝えていく。

授賞式は同市の県警本部であり、三木健次生活安全部長が感謝状を手渡し「皆さんの努力で素晴らしい動画を作ってもらい感謝している」と述べた。圖師さんは「調べる中で想像以上に被害件数や被害額が多いと分かった。地域の人たちの役に立てれば」と願った。

★宮日デジタルにも掲載 (河野文頭)